



焼き立てのパイやジャムが並ぶ樹蘭の店内

農村地域における男女共同参画社会の確立に向けて

耳納連山に囲まれた田主丸の良さを 体感できると評判の農園 & カフェ

田主丸町・女性農業者の起業

女性農業者のチャレンジ



田主丸地域を代表する果物 巨峰ぶどう

田主丸地域は、ぶどう、柿、イチジク、あんずに代表されるフルーツの里です。巨峰ぶどうを始めとする観光ぶどう狩り園が69軒(田主丸観光ぶどう協会加盟)あり、夏から秋を中心に多くの観光客が訪れています。田主丸地域の耳納北麓に広がるぶどう園の中にあるカフェ「樹蘭」は、平成14年に福岡県女性農村アドバイザー(当時)の中野一美さんから田主丸地域の女性農業者が観光ぶどう園に隣接して開設した都市と農村の交流施設です。

地元産の果物を
ふんだんに使った
絶品スイーツ

地元産フルーツに こだわる スイーツが自慢

田主丸地域の女性農業者が運営するカフェ「樹蘭」は、ぶどうを始めとする耳納山麓地域特産の果物を材料としたフルーツパイやジャムが評判です。この味と耳納連山に囲まれた自然と田舎の良さを楽しむために、市内外から多くのお客さんが訪れています。

「樹蘭」の一番のオスマメは、サクサクとした食感がたまらないフルーツパイ。果物の良さを知り尽くした農業者が厳選した素材をたっぷり使用して、毎日手作りしています。

この味が評判となり、福岡市の大手百貨店から大量注文を受けたこともあります。

店内はバリアフリー仕様になって



おり段差がなく、身障者対応トイレもあり、体の不自由な方、小さなお子さん連れ、お年寄りでも安心して訪れることができます。

女性農業者らの チャレンジで地域の 魅力を発信

中野さんは、平成20年度福岡県農村女性チャレンジ支援事業により、県と市の支援を受け、「イチゴ」を栽培するハウス施設を新設し、加工用イチゴの自家栽培、イチゴ狩り園を計画しています。中野さんのチャレンジに新たな取組みが加わります。

中野さんは、これからも様々な果物を栽培して観光果樹園を充実させたいと考えています。

将来は年間を通じて耳納連山の豊



かな自然を楽しむことができる宿泊施設や農家レストランなどを作る夢を持っています。

中野さんら女性農業者のチャレンジによって農業・農村の魅力が発信され、農業・農村の発展へとつながっていきます。

(写真上) 田主丸地域の景観にうまく溶け込む樹蘭の外観。店内は、ゆったりとした時間が流れています。

(写真中) 店内の厨房でひとつひとつ丁寧に焼き上げられ、すぐにお店で販売されるフルーツパイ。焼き立ての美味しい匂いが食欲を誘います。

(写真下) 巨峰や柿などの地元産フルーツたっぷりの手作りジャムや手作りの小物が並んでいます。



家族みんなの能力をうまく引き出す 家族経営協定

家族による経営が中心の農業が、魅力ある職業となり、年齢や性別を問わず意欲をもって取り組めるようにするためには、農業経営や家事において家族一人ひとりの役割と責任を明確にして、各人の意欲と能力が十分に発揮できるための労働・家庭環境づくりが必要です。

これを実現するために役立つのが、農業経営を担っている家族相互のルールを、文書にして取り決める「家族経営協定」です。

久留米市では平成6年度より家族経営協定の取組みを推進しており、平成20年12月末現在、市内311戸の農家世帯で、家族経営協定を締結しています。



家族経営協定調印式の様子